

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

課題番号	STSC19015
研究開発課題名:	健康起因事故の未然防止を主目的とした「Virtual Co-Driver」の事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	早稲田大学 理工学術院総合研究所 主任研究員(研究院准教授) 亀崎 允啓

1. SCORE での活動目的

自動車運送事業(バス・タクシー・トラック事業)には、利用者や歩行者を含め運送事業の周囲で活動する人々の安全確保が社会的に求められている。このような中で、事業ドライバーの「健康状態に起因する事故事案」は、近年増加の一途をたどっており、事業者にとって解決したい主要課題となっている。本研究課題では、ドライバーの「いつもと違う様子(Abnormality)」を一早く推測し、健康状態の悪化(特に意識喪失)につながる予兆を見つけ、必要に応じて事故を未然に防ぐための最小限の介入を行う「Virtual Co-Driver」を提案し、自動車運送事業者を対象とした事業化検証を行うことを目的とする。

2. 総合所見

バス会社とのネットワークを構築し、PoC 可能な段階まで進めることができた点を評価する。異常状態のドライバーのデータを取得することが困難であるが、事業会社との共同研究や医療機関との連携を行うことによって技術を更に深化させながら、事業化活動を継続することを期待する。

以上